



発行所 金沢市本町3-111 金沢高等学校 新聞部・文化委員会

校訓と教育理念

質実剛健の 気風を高揚し 共に求める真理 共に育む友愛 共に尊ぶ礼節 共に鍛える心身

完成間近 新校舎棟を取材

～工事現場の「内側」に迫る～



新校舎棟の内部を取材する新聞部員

校舎改築工事が着々と進行する中、本校新聞部は6月、8月末に供用を開始する新校舎棟(C棟)の状況を詳しく伝えるため、建設業者の特別な許可を受け、工事現場内部の取材を行った。

「洗心館」と 通路で連結

新校舎棟は3階建てとなり、1、2階ともに洗心館への連絡通路が設けられる。1階は会議室や応接室等、2、3階はICTに対応した教室が3室ずつ設けられ、快適な学習環境が整備されることになる。

新聞部はこのほど、工事を管轄する松井建設(株)の宮下茂幸さんの案内のもと、また鉄骨がむき出しの工事現場を見学させていただいた。太い鉄の柱や高い天井を眺めるうち、この新校舎で学ぶ日々が非常に待ち遠しく感じられた。

感染防止にも配慮

宮下さんは工事全体を統括し、昨年からコロナ禍においては、感染防止対策と熱中症対策を両立させながら、円滑な工事の遂行に気を配っている。現場では多い時で約50人の方が働き、8時のラッシュ体操に始まり、複数の業者によって日々作業が進められている。



来月の完成に向けて工事が進む新校舎棟(C棟)

「集団免疫」 実現遠く

新型コロナウイルスの変異株による感染が全世界で広がる中、石川県では5月、学校関係を含む多数のクラスターが発生した。それを契機として、県有施設の閉鎖や、飲食店の営業時間短縮の要請が行われた。その後、感染者数は減少し、宣言は解除されたが、身近な所で感染の波が広がってきているのを感じている。

主張 流行は何度繰り返すのか

6月、新型コロナウイルスのパンデミック(世界的大流行)を確実に収束させるため、2022年のG7サミットまでに「世界人口(約80億人)の少なくとも70%にワクチン接種することを目標にしなければならぬ」と述べ

た。ワクチン接種によって免疫を持つことで感染が広がりにくくなる。「集団免疫」の状態を世界規模で実現するには、まだしばらく時間がかかるというわけだ。

オリンピック 開催にも不安

現状では東京オリンピックは開催予定であり、観客を入れて実施する場合には、さらなる感染拡大の懸念も示されている。政府にはどのように対策を講じていくのか、しっかりと説明責任を果たしてもらいたい。

文化祭に向けて一丸

執行部が定めたスローガン「万里一空」は、目標を見失わずに努力し続けることを意味する。会長の武田さんは「コロナ禍においても、前期の行事を安全、安心に実施できる対策を考え、全校生徒の思い出になるようなものになりたい」と、執行部の目標を語ってくれた。

5人の執行委員はそれぞれ、「学校の役に立つと同時に、自分自身の成長につなげたい」と(松本さん)、「去年できなかった行事、またはそれにかかわる新たなイベントの企画に力を入れていきたい」と(宮本さん)、「これを機に、立候補したきっかけについては、会計の長岡さんは「昨年執行部を経験して、とてもやりがいを感じたから」と話し、同じく会計の名古谷さん



生徒に笑顔で挨拶する執行部メンバーたち

文化祭に向けて一丸 執行部が定めたスローガン「万里一空」は、目標を見失わずに努力し続けることを意味する。会長の武田さんは「コロナ禍においても、前期の行事を安全、安心に実施できる対策を考え、全校生徒の思い出になるようなものになりたい」と、執行部の目標を語ってくれた。

副会長の高田君は、「文化祭でどのような催し物ができるのかを考えていきたい」と語り、同じく副会長の西脇君は「今までの経験を活かして、試行錯誤しながらみんなで目標を達成したい」と決意を述べた。

執行部メンバーとして、自分自身の成長につなげたい」と(松本さん)、「去年できなかった行事、またはそれにかかわる新たなイベントの企画に力を入れていきたい」と(宮本さん)、「これを機に、立候補したきっかけについては、会計の長岡さんは「昨年執行部を経験して、とてもやりがいを感じたから」と話し、同じく会計の名古谷さん



就任式に臨んだ執行部メンバーたち

万里一空 たゆまぬ努力を

今年度の前期生徒会執行部員は4月27日に選出され、新しい生徒会が始動した。武田会長を中心としたメンバーは、「万里一空」のスローガンのもと、コロナ禍でも明るく元気の学校生活を実現するため、あいさつ運動等に取り組んでいる。

前期生徒会執行部が始動

祭でどのような催し物ができるのかを考えていきたい」と語り、同じく副会長の西脇君は「今までの経験を活かして、試行錯誤しながらみんなで目標を達成したい」と決意を述べた。

「新しい企画を考え、笑顔いっぱい学校をつくりたい」と(横田さん)と、熱い抱負を語った。

コロナ禍で、さまざまな活動において従来とは違った対策が求められる中、学校をよりよくしたいという決意に満ちた生徒会メンバーを応援していきたい。

新任紹介

今年度は新任の先生5名が着任された。先生方の中には、多彩な趣味を持つ方々が多く、学校がさらに賑やかになることは間違いなさそう。新聞部では先生方のことをもっと知ってもらうため、インタビューを実施した。

埼玉県です。埼玉はサッカーが盛んで、私は浦和レッズのファンです。高校時代の思い出を教えてください。音楽が大好きで、ライブ活動に没頭していました。今でも音楽が大好きです。好きな芸能人は? サッカーの原口元気選手です。ユース時代から応援しています。

を始めた。好きな芸能人は誰ですか? 渥美清です。映画「男はつらいよ」のファンです。好きな言葉は何ですか? 「人生は一度限り、自分の好きなことに打ち込むべし」。金高生にメッセージを。人は失敗から多くのことを学びます。何事にもチャレンジしましょう。

挑戦(やってみよう)の精神でがんばろうと心がけています。金高生にメッセージを。プラス思考で明るく楽しくチャレンジしてください。

元林 裕一先生 (第3職員室)

澤田 豊先生 (理科 第1職員室)

吉川 純先生 (英語 第3職員室)

寺本 要先生 (地歴公民 第3職員室)

川崎 洋一先生 (理科 第3職員室)

元林 裕一先生 (第3職員室)

県高校総体特集

県高校総体は5月から6月の期間に県内各地で行われ、各部、同好会、個人出場の選手たちが熱戦を繰り広げた。

Soul 魂

「鍛錬千日」惜しくも準優勝

男子バスケット



シュートを打つ白石君

県高校総体バスケットボール競技が、6月3日から6日にかけて白山市松任総合運動公園体育館等で行われ、本校男子バスケットボール部は決勝で惜しくも北陸学院に敗れ、準優勝となった。

女子バスケット 6年ぶり北信越出場



ドリブルで攻め込む大野さん

同じく本校女子バスケットボール部は準決勝で津幡に敗

だ大会では、やるべき事や、やってきた事を表現することができました。しかし、全ての試合で表現できた訳ではありません。どんな相手でも、自分達の力を100%出すにはどうすればいいか。心・技・体の全てにおいて見直し、日常生活を大事にして、金沢高校のバスケットを追求していきます」と話した。

れたが、北信越代表決定戦で金沢西を下し、6年ぶりに北信越出場を決めた。部長の大野沙弥さん(3年13組)は「去年は開催できなかった総体が今年開催されたことに感謝しています。私たちの目標の一つである北信越出場を達成できましたが、緊張して実力を発揮できなかった人が多く、代表決定戦は良い試合内容ではありませ

水泳 野3大会連続総合優勝



大会新をマークした中池さん

県高校総体水泳競技が6月20日、金沢プールで行われ、本校水泳部は総合の部、競泳の部で男子が3大会連続総合優勝、女子は総合3位という結果を残した。

Table with 2 columns: 男子 (Men) and 女子 (Women). Lists various swimming events and winners.

男子テニス 男子団体4大会連続15回目優勝



3冠を達成した吉田君

県高校総体テニス競技は6月3日から6日にかけて、城北市民テニスコート等で行われ、本校男子テニス部は団体戦決勝で錦丘を破り、4大会連続15回目の勝利を手にした。

Table with 2 columns: 個人シングルス (Individual Singles) and 個人ダブルス (Individual Doubles). Lists winners and scores.

組は「コロナ禍で練習試合が組めない状況において、部員同士が緊張感を持ち、練習のときから常に『丁寧』にプレーをするよう心がけました。引退した3年生の思いを背負い、北信越やインターハイで上位へ勝ち進めるよう全力を尽くしますので、応援よろしくお願ひします」と意気込みを語った。

Table with 2 columns: 個人シングルス (Individual Singles) and 個人ダブルス (Individual Doubles). Lists winners and scores.

女子テニス 団体3位北信越決める 同じく、本校女子テニス部は団体戦にて、準決勝で泉丘に惜敗したものの、二水高校に勝利し、北信越大会の切符をつかんだ。個人戦ダブルス

【北信越大会結果】 2回戦 金沢 2-1 小松 準決勝 金沢 1-2 泉丘 順位決定戦 2回戦 金沢 2-0 金沢西

では、田作澤和さん(3年12組)と北浦利子さん(3年8組)のペアがベスト8となった。部長の北浦さんは「団体戦で3位になり北信越出場を決めました。全員で目指していた目標には一歩届きませんでした。毎日練習に励んできただけに、とても悔しい思いをしました。この悔しさをバネに、北信越では一つでも多く勝つように頑張ります」と、決意を語ってくれた。

【北信越大会結果】 1回戦 金沢 2-0 豊南 2回戦 金沢 0-2 高商(新潟)

女子バレーボール 完全燃焼を目指す

県高校総体バレーボール競技が6月3日から6日にかけて、鹿島体育センター等で行われ、本校女子バレーボール部は、4チームによる決勝リーグで3位となり、北信越大会出場を決めた。

Table with 2 columns: 個人 (Individual) and 団体 (Team). Lists winners and scores.

【北信越大会結果】 1回戦 金沢 0-3 新潟(新潟) 2回戦 金沢 2-0 寺井

【北信越大会結果】 1回戦 金沢 2-1 新鶴(新潟) 2回戦 金沢 2-0 寺井

【北信越大会結果】 1回戦 金沢 42-9 石川 2回戦 金沢 26-18 寺井

剣道 好団体 気迫で全国切符

北信越地区高校剣道大会が4月24日から5月4日にかけて、県立野球場等で行われ、本校剣道部は準決勝で小松大谷に敗れ、惜しくも決勝進出とはならなかった。

【北信越大会結果】 1回戦 金沢 0-1 泉丘 A組4位 ベスト8

【北信越大会結果】 1回戦 金沢 1-1 羽咋 準決勝 金沢 1-2 桜丘

【北信越大会結果】 1回戦 金沢 2-0 大聖寺 準決勝 金沢 2-0 輪島

【北信越大会結果】 1回戦 金沢 2-0 輪島 準決勝 金沢 2-0 輪島

【北信越大会結果】 1回戦 金沢 2-0 泉丘 順位決定戦 2回戦 金沢 2-0 金沢西

【北信越大会結果】 1回戦 金沢 2-0 泉丘 順位決定戦 2回戦 金沢 2-0 金沢西

【北信越大会結果】 1回戦 金沢 2-0 泉丘 順位決定戦 2回戦 金沢 2-0 金沢西

【北信越大会結果】 1回戦 金沢 2-0 泉丘 順位決定戦 2回戦 金沢 2-0 金沢西

【北信越大会結果】 1回戦 金沢 2-0 泉丘 順位決定戦 2回戦 金沢 2-0 金沢西

【北信越大会結果】 1回戦 金沢 2-0 泉丘 順位決定戦 2回戦 金沢 2-0 金沢西

【北信越大会結果】 1回戦 金沢 2-0 泉丘 順位決定戦 2回戦 金沢 2-0 金沢西

【北信越大会結果】 1回戦 金沢 2-0 泉丘 順位決定戦 2回戦 金沢 2-0 金沢西

陸上競技 男子400mリレー 10年ぶり記録更新 40秒93



400mリレーを制した(左から)高井君、小林君、奥村君、津田君

金高

県高校総体陸上競技は5月27日から29日にかけて、県陸上競技場で行われ、本校陸上競技部は男子4×100mリレーで40秒93をマークして優勝し、県高校記録を10年ぶりに更新した。

同リレーメンバーでは小林研太君(3年13組)が100mを制し、津田葵音君(3年13組)が走幅跳、三段跳で優勝した。棒高跳では木本宝月君(2年11組)が栄冠を手にした。

部長の高井克真君(3年13組)は「北信越大会では、6位に入らなければインターハイに出場できないため、一人でも多くの人が出場できるように頑張ります」と、さらなる栄光に向けて意気込みを見せた。

- 【県高校総体結果】
- 男子
 - 100m 小林研太 優勝
 - 高井克真 5位
 - 奥村慎太郎(3年8組) 6位
 - 200m 羽田悟士(3年10組) 4位
 - 小林研太 5位
 - 400m 初崎 蓮(3年8組) 4位
 - 山下大輝(3年2組) 8位
 - 800m 舟木宝月 優勝
 - 棒高跳 杉林一輝(1年7組) 2位
 - 走幅跳 津田葵音 優勝
 - 三段跳 津田葵音 優勝
 - 津田葵音 優勝
 - 松本航季 8位
 - 砲丸投 加藤亮太(3年9組) 8位
 - 円盤投 加藤亮太 4位
 - 8種競技 富山創史朗(3年12組) 5位
 - 瀬戸聡太(3年12組) 6位
 - 総合 瀬戸聡太 6位
 - トラック フィールド 3位
 - 女子
 - 4×100mリレー 龍湖唯(2年6組)、定仙千里(3年13組)、別宗陽(3年8組)、向井美葵

県高校総体ソフトボール競技は6月5日から6日にかけて、金沢市専光寺ソフトボール場で行われた。本校女子ソフトボール部は津幡高校との決勝戦において、延長8回タイブレークのサヨナラ勝ちとし、8大会連続10度目の優勝を果たし、インターハイ出場を決めた。

部長の朝倉彩海さん(3年12組)は「県総体での優勝は嬉しかったけれど、とても悔しい思いが混じる大会でした。特に決勝では一点先制され、予想していた展開にならず、焦る気持ちがありました。しかし、チームがここで負けられないという強い気持ちがあったから勝てたと思います。課題が多く出た大会だったので、インターハイには気持ちを切り替えて臨みたいですね」と、表情を引き締めた。

- 【北信越大会結果】
- 1回戦 金沢11-0 荻野(長野)
 - 準決勝 金沢2-0 福井(福井)
 - 準決勝 金沢4-0 鷺宮(福井)
 - 決勝 金沢12-0 啓新(福井)



優勝旗を手に笑顔の選手たち

吹奏楽部による「文教アートウェイブ・サマーコンサート」は6月19日、県文教会館で開かれ、吹奏楽部の約30人が練習を重ねた軽快な演奏を披露した。昨年はコロナ禍で開催することができず、2年ぶりの実施となった。来場した保護者や教職員は、生徒たちの演奏に聴き入り、惜しめない拍手を送っていた。



息の合った演奏を披露した部員たち

【北信越大会結果】

- 男子
 - 100m 小林研太 4位
 - 4×100mリレー 高井、小林、奥村、津田 優勝
 - 40秒93 大会新県高校新記録
 - 800m 森田清輝 8位
 - 棒高跳 森田清輝 8位
 - 舟木宝月 7位
 - 走幅跳 津田葵音 3位
 - 三段跳 津田葵音 優勝
 - 津田葵音 優勝
 - 団体フィールド部 3位



横四方固めで相手を抑え込む大河内君(左)

県高校総体柔道競技が6月3日から5日にかけて、県立武道館にて開催された。男子団体はベスト8、個人の部では男子60kg級の大河内優斗君(3年12組)と48kg級の西山(3年12組)とが活躍した。

- 【北信越大会結果】
- 男子個人
 - 60kg級 大河内優斗 準優勝
 - 66kg級 金谷悠(2年11組) ベスト8
 - 48kg級 西山もも 準優勝
 - 女子個人
 - 48kg級 西山もも 準優勝

県高校総体弓道競技が5月30日から6月5日にかけて、県立武道館にて行われた。男子個人の部では坂下開盛君(3年5組)が準優勝に輝き、インターハイへの出場権を手にした。



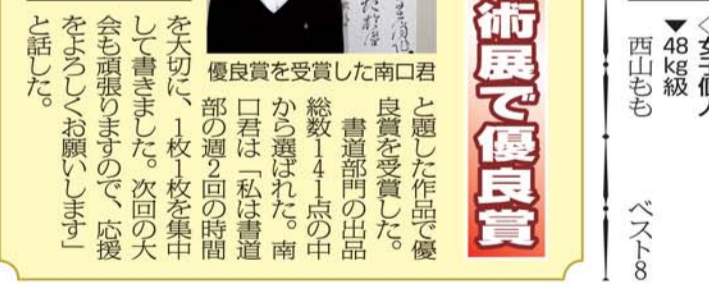
個人準優勝となった坂下君

坂下君は「男子弓道部は団体戦8位入賞、個人は準優勝という好成績を収めることができました。このような結果を得ることができたのは、部員全員が大会に向けて日々練習から集中し、一本一本を大切にできたからだと思います。北信越や全国大会は今まで以上に厳しい戦いになると思うので、自分が今日まで行ってきた「射」を信じ、悔いだけは残さないように頑張りたいと思います」と語った。

- 【県高校総体結果】
- 男子団体 予選 19中/40射
 - 準決勝 22中/60射
 - 男子個人 坂下開盛 13中/16射 準優勝
 - 女子団体 予選 11中/40射

【書道 WEB芸術展で優良賞】

県高校総文「高等学校美術展」は6月4日からインターネット上で開催され、本校書道部の南口詠歌君(2年2組)が「自叙帖」と話した。



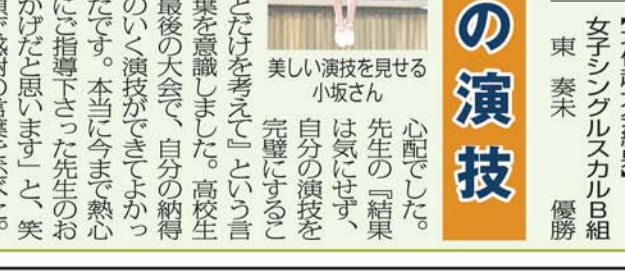
優良賞を受賞した南口君

- 【各部の記録】
- バドミントン部
 - 男子団体 2回戦 金沢3-0 小松明峰
 - 3回戦 金沢0-3 兼盛
 - 女子団体 1回戦 金沢1-3 錦丘
 - 卓球部
 - 男子団体 1回戦 金沢3-0 向陽
 - 2回戦 金沢2-3 羽上工業
 - 女子団体 1回戦 金沢1-3 泉丘

- 【小林寺法同好会】
- 男子組演武 西村悠(2年1組)、伊藤琉成(2年5組) 7位
- 【放送部】
- 全国高校放送コンテスト 県大会 朗読部門 菊田凛花(3年5組) 入選
- 【邦楽合同発表会】
- 「雪人形の夢」 優良賞

【個人出場】

県高校総体トランポリン競技は6月5日、星陵高校第2体育館で行われ、本校の小坂彩菜さん(3年10組)はBクラス女子の部で優勝した。小坂さんは「コロナの影響で、いろいろな制約のある中で競技でした。また大会前に2週間運動が中止になり、練習期間が1週間しかなく、とだけを考えて」という言葉を感じました。高校最後の大会で、自分の納得のいく演技ができてよかったです。本当に今まで熱心に指導下さった先生のおかげだと思えます」と、笑顔で感謝の言葉を述べた。



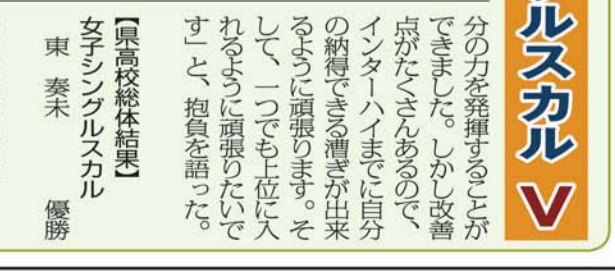
美しい演技を見せる小坂さん

【高校総体結果】

- Bクラス女子 個人 小坂彩菜 優勝

【ボート】

県高校総体ボート競技は6月5日から6日にかけて、県津幡漕艇競技場で行われ、本校の東奏未さん(2年8組)は女子シングルスカルで優勝し、北信越大会でインターハイの出場を決めた。



女子シングルスカルで優勝した東さん

東さんは「今日大会では自分自身、インターハイの出場を決めた。北信越大会でインターハイの出場を決めた。北信越大会の結果、女子シングルスカルB組 東奏未 優勝

特集 金沢ベイエリアが今、熱い

コロナ禍でも人気 クルーズターミナル

「玄関を見れば、その家がわかる」と言われるが、金沢港に誕生したクルーズターミナルは、文化の香り高い石川の地を象徴する、まさに美しい玄関である。一面ガラス張りの建物の屋根は、日本海の波をイメージして緩やかにカーブし、海の風景の一部として溶け込んでいくかのようだ。

中に入る



日本海の波をイメージした屋根を持つ金沢港クルーズターミナル

「海の玄関口」に新シンボル
の多彩さと、伝統工芸の意匠に再び驚かされる。1階には、広大なCIQエリアが設けられている。CIQとは税関、出入国管理、検疫を表す英語の略称で、出入国の際に必要な手続きを行う場所である。



豪華客船が寄港する金沢港クルーズターミナル(右) (金沢港クルーズターミナル提供)

金沢港の新たなシンボルとして昨年誕生した「金沢港クルーズターミナル」が、6月にオープン1周年を迎えた。コロナ禍で開館が2カ月遅れとなったが、この状況下でも当初の目標人数を大きく上回る来館者を集めている。これまでや地味な印象だった金沢港の新たなにぎわいスポットとして、脚光を浴びている石川の「海の玄関口」の魅力を探った。

日本海を眺めながら食事できるレストランの横を抜けて扉を開ければ、そこは展望デッキだ。ちょうどクルーズ船のプロムナードデッキと同じ高さになるよう設計されており、テープを繋げる見送り



船の操縦を体験できるシミュレーター

2階へ向かうと、さらさらの施設の楽しみが増える。その一つである「金沢港まなび体験ルーム」では、マルチディスプレイを用いた、国内最大級のクルーズ船の操縦シミュレーター、クルーズ船に乗った気分になれる疑似体験シアター、マニアクンなどまで学べるクイズコーナー等があり、どれも幅広い年齢層が楽しめる内容となっている。

さらに目に入るのは、待合エリアに立つ絢爛豪華な色彩を放つ2本の柱。石川を代表する九谷焼、加賀友禅、輪島塗、山中漆器、金沢箔、首飾、加賀繻、金沢箔といった工芸の技を贅沢に使ったパネルが設置されている。これを見るだけでも、来館の価値はありそうだ。

り、クルーズターミナルのメイン機能と云ってよい場所だ。

かなざわ食マネジメント専門学校 専攻職大学のキャリアセミナーは6月15日、3年生を対象に本校で行われ、七尾市出身のパティシエ辻口博啓さんが「夢を叶える」



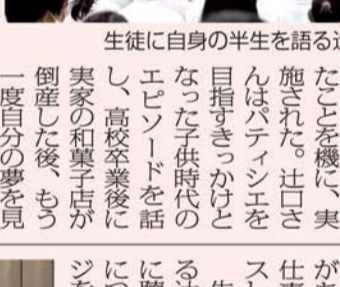
生徒に自身の半生を語る辻口さん

「自分らしい生き方を」パティシエの辻口さんが本校で講演

金沢港開港50周年で整備
その開港50周年を記念して整備されたクルーズターミナルだが、昨年はコロナ禍によりクルーズ船の寄港はゼロだった。4月にクルーズ船の入港

がようやく実現したが、その後は感染再拡大もあってキャンセルが続く、以前のような状態には戻っていない。

をテーマに講演した。本校と同専門職大学が5月に高大連携協定を締結したことを機に、実施された。辻口さんはパティシエを倒産した後、もう一度自分の夢を見つめ直し、自分が大好きな職を選択した、と語った。



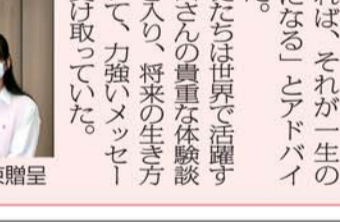
一度自分の夢を見つめ直し、自分が大好きな職を選択した、と語った。

辻口さんは「今も常に勝負を続けている」と話し、ペルーに農園を所有し、品質の高いカカオの生産を計画して

金沢港の歴史をたどれば、北海道からの北前船が大阪へ向かう途中の寄港地として江戸時代まで栄えた。しかし明治になり鉄道や道路が整備されると、次第に海上輸送は減少した。ところが昭和38(1963)年の三八豪雪が陸上交通をストップさせたことを機に、陸路以外の手段の必要性が叫ばれるようになり、6年間の工事を経て1970年に金沢港が誕生した。

北前船の歴史をたどれば、北海道からの北前船が大阪へ向かう途中の寄港地として江戸時代まで栄えた。しかし明治になり鉄道や道路が整備されると、次第に海上輸送は減少した。ところが昭和38(1963)年の三八豪雪が陸上交通をストップさせたことを機に、陸路以外の手段の必要性が叫ばれるようになり、6年間の工事を経て1970年に金沢港が誕生した。

講演後に行われた花束贈呈



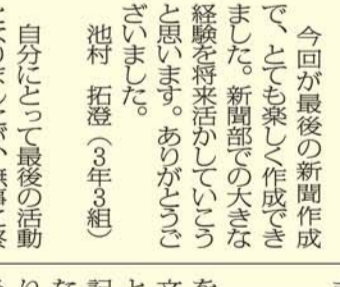
講演後に行われた花束贈呈

辻口さんは「今も常に勝負を続けている」と話し、ペルーに農園を所有し、品質の高いカカオの生産を計画して

浅田隆事務局長は「金沢港では港に関連する多くの団体や企業の人々が動いています。皆さんの将来を考えると、高校生に対して来館を勧めたい。未来を担う若者にとって、金沢港は大きな魅力と可能性を秘めている。」

にもかわらず、多くの人々でこの施設がにぎわっているのは、コンサートやセミナー等のイベント会場、遠足やスポーツ等の地域住民の活動拠点として、多様な用途で使われているところにある。そしてそれを支えるのが、背景に日本海という自然のステージがあることだ。

自分が最後の新聞作成で、とても楽しく作成できました。新聞部の大きな経験を将来活かしていこうと思います。ありがとうございます。



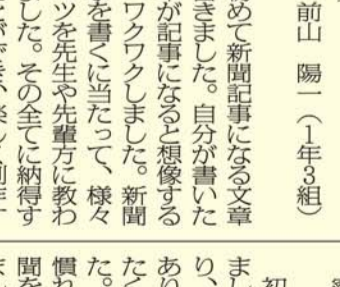
池村 拓澄(3年3組)

編集後記
最初に、念願の1年生が入部してくれたことをとても嬉しく思います。部の存続という最大の課題をクリアしたこともあってか、最後の仕事も気分が爽やかに作れました。上手にできたかは分かりませんが、部長としての職務を全う出来たと思います。ありがとうございます。

1年延期後、実現
山本君は昨年、川北中学校の陸上部部長を務めていたことから、聖火を持って地元の川北町を走りたくと考え、応募した。しかしオリンピックが延期となり、さらに今年の聖火リレーは

つないだ「五輪の火」
山本君聖火ランナーを務める
東京五輪聖火リレー代替イベントとなる聖火点火セレモニーは5月31日、金沢市の金沢城公園三の丸広場に開催され、本校の山本慎矢君(1年7組)が聖火ランナーとして参加した。

初めて新聞記事になる文章を書きました。自分が書いた文章が記事になると想像すると、ワクワクしました。新聞記事を書くに当たって、様々なコツを先生や先輩方に教わりました。その全てに納得することができ、楽しく制作することが出来ました。これからよりよい記事を書いていきたいです。



水田 大喜(1年3組)

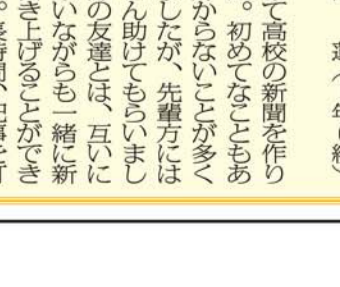
中田 智大(3年3組)
今回は初めて新聞というものを制作しました。この経験を経て、私学ならではの新聞制作というものは達成感が大きいということでした。人数が少ないということもあってか、新聞制作する過程で私は勉強以上の疲れを感じました。しかし新聞が完成すると、今まで感じたことがない充実感が私を包み込んでくれました。その充実感は、私にまだまだ新聞を書きたいと思わせました。だから私はまた、新聞を書きたいと思えます。



聖火をつなぐ山本君 (NHKホームページより)

山本君を含む104人のランナーが金沢城公園に集結し、福井県より受け継がれた聖火をトーチキスによって繋いだ。大役を果たした山本君は、「1年間待ちました。やっとトーチを持つことができてうれしかったです。走れなかったことは残念でしたが、一生に一度の機会だと感じました。オリンピックでは選手たちを一生懸命応援したいと思えます」と、晴れやかな表情で語ってくれた。

初めて高校の新聞を作りました。初めてのこともあり、分からないことが多くありましたが、先輩方にはよりよい記事を書いていきたいです。



井上 将也(1年12組)

窪田 蓮(1年6組)
僕のためになるものでした。これから先も、この経験を活かし、より素晴らしい新聞を書き上げたいです。

デビュー戦でした。わからないことが多く、コミュニケーションのなさを追いかけてきて、先輩や同級生に助けられてはかりました。もどかしさを感じる反面、学ぶことが多く、良い経験になったと感じています。取材現場や職員室前のスペース等、様々な場所での部員たちと共に時を過ごして、こつこつ新聞を作り上げていったこの時間は、とても僕のためになるものでした。これから先も、この経験を活かし、より素晴らしい新聞を書き上げたいです。

山本君を含む104人のランナーが金沢城公園に集結し、福井県より受け継がれた聖火をトーチキスによって繋いだ。大役を果たした山本君は、「1年間待ちました。やっとトーチを持つことができてうれしかったです。走れなかったことは残念でしたが、一生に一度の機会だと感じました。オリンピックでは選手たちを一生懸命応援したいと思えます」と、晴れやかな表情で語ってくれた。